

第四十七表 中之島噴出

年月日	同上 (西曆)	記 事
大正三年一月	一九一四年一月一日	櫻島大破裂ノ後、山頂舊噴孔底ノ沼平ヨリ泥土ノ噴出アリ、長四間、幅二間、深二尺五寸ノ池ヲ作レリ。(大森ノ調査ニヨル)

第四十八表 諏訪之瀬島噴火

年月日	同上 (西曆)	記 事
文化十年	一八一三年一月一日	噴火破裂シテ居住ノ民人悉ク他ノ諸島ニ逃レ避ク其後噴煙絶ヘズ因リテ明治十六年頃迄ハ無人島トナル、此ノ噴火ノトキ鎔岩ヲ島ノ南西ナル ^{サコ} 追尻 ^{ツリ} 及ビ水河 ^{スイガ} 方面ニ流出シテ海中ニ突出タシリ、當時新タニ生ジタル噴火口ノ直徑ハ「三百メートル」ニ達ス。(大森房吉出ノ張復命書)
明治十七年	一八八四年一月一日	明治十年頃種子島ニテハ三日間程續キテ音響アリ遠キ砲聲ノ如クニシテ鹿兒島砲戰ノ響ナランカナド語リ合ヒシガ後ニ至リテ諏訪之瀬島ノ噴火ナルコト判明セリト云フ(鮫島鐵馬氏ノ談ニヨル) 明治十七年大噴火アリ鎔岩ヲ島ノ北東ナル ^{サツジ} 作地 ^{サツジ} 方面ニ流出シテ海岸ニ達セリ、其ノ前後モ屢々噴火シ、中之島、種ヶ島、鹿兒島市ニ迄鳴動ヲ傳ヘタルコト稀ナラズ。明治十七年ノ